

陸上競技（短距離）プログラム報告 2016年4月23日（土）中村 泰雄

福祉村では桜が終わると赤い花と黄色い花が妍を競います。赤い花は菊桃や箒桃などの花桃で、黄色い花は連翹です。

『連翹』とは何とも大陸的な香りのする名前ですが、それもその筈で、この名前は原産地の中国で使われていたものを、そのまま音読みにしているのです。ですから『連翹』と書けば中国でも通じる筈ですよ。所が『そうは問屋が……』で、日本海（or 東シナ海）を渡る間に名前と本体に齟齬が生じ、中国で『連翹』と書けば、巴草か弟切草のことです。四月最初のプログラムの配布プリントは日本で言う連翹で作りました。

準備は完了でしたが此処で突発事故。私自身が肺炎で入院することになりました。抗生剤の点滴を受け乍らベッドに縛り付けられて十日間。何とか退院に漕ぎ着けたのは四月十五日でした。

次のプログラムが迫っていますが配布プリントの準備も有りません、有るのは九日のプログラムの為に準備した連翹のプログラムだけです。で、苦肉の策。何とか連翹のプリントで誤魔化せないか。昨日、ダメモトで連翹の樹を見に行きました。樹は健在で花もわずかに残っていました。そこで今日のプログラムの立ち上がりのウオーキングではこの連翹を見てもらう事にしました。御免なさい。他に手が無かったもので。

何時もの様に元気館でのミーティングの後に芝生広場の西端に移動して、磯野コーチ指導の準備体操。それが終わると、同所をスタート&ゴールとするウオーキングです。私はウオーキングのスタートを見届けてから、ウオーキングの一行とは別コースで連翹の咲く現場に向かいました。現場はウオーキングのスタートポイントから約五百メートルの所に在る薬用植物園の一角です。

現場到着はウオーキングの一行と殆ど同時でした。彼らの脚が速くなったのか、私が病氣上がりの為か。云うのも愚か……以下略（笑）

其処で黄色い花を目の前にして、桜の咲く頃、葉よりも先に花が咲き、未だ咲いていること。中国で『連翹』と書くと別の植物を意味すること。渡来の時期が明らかでないこと等々を手短かに話して再スタートしてもらいました。

ウオーキングの後は2000メートル、1000メートル、400メートルのタイムを取り、50メートルのダッシュを三本走って、十一時五十五分、磯野コーチ指導の整理体操の後にKY君のリードでSON埼玉のエールを叫んで、曇り空の下でのプログラムを無事にめました。